

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 僧帽弁感染性心内膜炎に対する手術成績の検討

[研究責任者] 心臓血管外科 水谷 真一

[研究の背景]

感染性心内膜炎は心臓の弁や周囲組織に何らかの感染が生じ、これらが破壊される病気です。破壊の程度が高度な場合や大きな合併症を生じた場合には、適切な治療が行われても未だ死亡率の高い疾患で、内科的な抗生剤治療に加え場合により外科的手術を必要とします。通常の僧帽弁逆流のような弁膜症では可能な限りご自分の弁を温存して治す弁形成術を目指しますが、この疾患の手術では感染による弁尖の破壊が高度となると、人工弁置換を必要としたり、なくなってしまった弁の一部にパッチを当てたりする必要が生じます。いずれの方法も特に若い患者さんや脳合併症を起こした患者さんでは抗凝固薬の必要性や、耐久性といった遠隔期に様々な問題を生じる可能性があります。当院ではこうした問題を回避するため可能な限りご自分の弁組織のみによる形成術を心がけています。

[研究の目的]

当院でこの病気に対して手術を施行された患者さんのデータを元にこの手術の有効性を調査することでより安全な治療方法の確立を目指します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

僧帽弁感染性心内膜炎の患者さんで、西暦2008年1月1日から西暦2019年3月31日の間に手術治療を受けた方（弁形成、弁置換を含む）。

なお比較の対照のため西暦2013年1月1日から2019年3月31日の間に感染性心内膜炎でない僧帽弁膜症に対し手術治療を受けた方のデータも使用します。

●研究期間：西暦2019年4月1日から西暦2020年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、身体所見、病歴に関する情報、合併症に関する情報、手術内容に関する情報、検査結果（血液検査、心電図・心臓超音波検査等）。（通常の診療すでに使用した検査結果、情報を収集するのみ

で、この研究のためだけに新たな検査を追加することはしません。)

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

心臓血管外科 水谷 真一

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913